



学院便り

編集・発行 中通高等看護学院
〒010-0021
秋田市檀山登町 3-18
TEL 018-832-6019
FAX 018-833-8970
e-mail: gakuin@meiwakai.or.jp
編集責任者 近江 薫・工藤真弓

学院長挨拶

社会医療法人明和会 中通高等看護学院 学院長 五十嵐知規

昨年12月31日付けの毎日新聞に、いろはカルタで2023年を振り返ったという欄がありました。「【い】一寸先にクマ」から始まり「【す】 昴への旅立ち」で終わる47題で、こんなこともあったなと忘れていたものもあれば、今なお続いていて解決が見通せない問題もこんなにあるのかと、あらためて世の混迷を実感させられた記事でした。私なりに良いニュース、悪いニュースと分類してみたところ、良いものが9、悪いものが24、どちらとも言えないのが14という結果でした。良いことより悪いことの方がニュースになりやすいとは言え、ちょっと暗くなりますね。なので、

という文章を31日の夜に書いて年を越したのですが、能登半島地震、飛行機衝突事故、JR山手線内での通り魔事件など、大変な出来事が続いた年明けになってしまいました。直接の当事者ではない人が行うべき行動の一つが「いつもと変わらない日常を送る」です。それを踏まえて、「なので、」からそのまま続けます。

なので、今回は明るくなれるかもしれない話題として、私の日々の娯楽の一つ、ドラマ鑑賞について書きます。

私はテレビドラマを見るのが好きで、多くを録画し、連ドラであれば完結してから一気に見ます。いわゆる「評価」が低いものとか、一話観て続けられそうにないものは消しますが、なかなか観きれずにHDDには常に何作か残っています。恋愛ものはほぼ観ませんが、医療ものは、ありえね〜、くだらね〜と思うものも含めて、わりと観ます。

ずっと前から見続けているもので、みなさんに是非お勧めしたいのが「ニュー・アムステルダム 医師たちのカルテ」というアメリカのドラマです。え？、日本のドラマじゃなくて？、と思いましたが。そうです、知らない人が多いでしょうから、ここで紹介します。

ニューヨークに実在するアメリカ最古の公立病院での実話を元にしたものとされていますが、多くのエピソードは現代的にアレンジされたフィクションだろうと思います。医療ディレクターという、日本では馴染みのない役職（院長と事務長を合わせたような感じ？）を担うマックスを主人公に、救急科ローレン、心臓外科フロイド、腫瘍内科ヘレン、精神科イギー、脳神経内科ヴィージェイなど、個性豊かな登場人物が社会の、そして自身の様々な問題を克服しながら医療に真摯に向き合う感動の群像劇です。

医療ドラマとしては「ER 緊急救命室」が古典的な名作として有名ですが、私はそれは見続けることができませんでした。アメリカのERという、私にとっては異世界が舞台で、感情移入しにくかったこと、エピソードが途切れず（なんとシーズン15まである）、マンネリに思えてしまったためです。

この「ニュー・アムステルダム」ももちろん、本当にこんなことあるの？と思わせるエピソードだらけですが、ジェンダーやSDGs、コロナパンデミックなど、世界のリアルを現在進行形に反映し、観る者を引きつける強烈な魅力があります。

私はU-NEXTという動画配信サービスで観ていますが、レンタルDVDも出ていますので、是非観てみてください。字幕ではなく吹き替え版の方が断然お勧めです。このキャラなら絶対にこの声だと思わせる、完璧な配役です。

各学年の様子

1年生

入学から10か月が過ぎようとしています。より専門的な学習が進み、後期の今は課題や単位修得試験に追われる日々です。くじけそうになる時もありますが、それぞれのキャリアビジョンを胸に、クラスで協力し合い乗り越えているところです。2月末には基礎看護学実習Ⅰが予定されています。感染対策への意識と共に、当初の実習時期よりも専門的な学習が進んだことで実習での学びの期待感も高まってきています。(担任：秋山祥子)



2年生

感染症対策が当たり前の中で生活してきた2年生。世の中では制限が緩和されている中で、時々周りの誘惑に負けながらも感染症対策を継続し実習を乗り切ることができました。現在は専門領域の学習に取り組んでいます。

2年生のスタートは1歩進んで2歩下がるが多かったけど、少しずつ、ダメな時は立ち止まって考え、前に進める学生も増えてきました。コロナ禍という滅多に経験することができない貴重な経験をした2年生。ここからは自信がなくても、成果が上手くでなくても『やってみる』気持ちを持って、嫌なことから逃げない！特に国試学習を『やってみる』！！国試勉強はもう始まっています。日々成長していく2年生を担当として、ほぼ口うるさく、時々楽しく見守られて嬉しかったです。これからも頑張れ。(担任：高橋洸太)



3年生

3年生は当校一の大所帯、男女合わせて49名が在籍し、元気に最後の学校生活を送っています。専門分野の領域別実習を終え、12月には看護学校の学びの集大成、統合実習を無事に終わることができました。この実習で複数同時に患者さんを受け持ち、看護することや、夜間実習を経験し、卒業後看護師として働く自分をイメージできたようです。今はお世話になった患者さんや実習先のスタッフの皆さんからの応援をパワーに変えて、国家試験合格に向けて頭をフル回転させて勉強を頑張っています。それぞれの看護師像を胸に頑張る彼ら、彼女たちをどうぞ温かく見守ってください。(担任：田安和)



誓いの式

10月21日（土）に明和会体育館で行いました。1年生は一人ひとりナイチンゲール像から灯火を自分のキャンドルに灯し、参列者に向けてキャリアビジョンを発表し、最後に全員で「夢に向かって頑張ります」と宣言しました。



オープンキャンパス

12月9日（土）にオープンキャンパスを開催しました。高校1・2年生と既卒者合計60名が参加して公開授業と校内見学、進路相談を行いました。

公開授業は基礎看護技術の「足浴」を体験してもらいました。デモンストレーションを見た後、グループに分かれて当校の2年生が補佐役となり、高校生に実践してもらいました。2年生は優しく丁寧に接しながら高校生にアドバイスしており、参加した高校生からも好評でした。グループごとに交流も行い、高校生の疑問（看護学校の学生生活ってどんな感じ？楽しみは？勉強は大変？等々）に答えていました。中には、行事予定や時間割などをスマホやiPadで見せながら説明している学生もあり、当校のデジタル化の一端を垣間見ました。会場は終始和やかな雰囲気でした。

今回参加した高校生が中看の魅力を感じ、入学してくれることを期待しています。



2023年7月の豪雨で浸水しました



活発な梅雨前線の影響で7月14日夜から続いた記録的な大雨により、当校も被害を受けました。校舎が床上浸水し、2日間の休校を余儀なくされました。ボランティアの学生や教職員家族、明和会職員が応援に来てくれて、床の泥の除去&洗浄と消毒、泥水に浸かった物品をキレイに洗浄してくれました。ボランティアに来てくれた皆さまにお礼申し上げます。

中通高等看護学院からのお知らせ

<新任職員のご紹介>



専任教員 小田嶋陽子
看護師免許を取得後、看護師としてだけでなく多岐にわたる経験をしてきました。この経験をいかして学生の皆さんと共に学びながら、看護の未来を考えていきたいと思っています。

2024年度 後期入学試験のご案内

出願期間	2024年2月13日(火)~2月21日(水)
試験日	2024年3月6日
試験科目	小論文・面接
試験会場	中通高等看護学院

<入試についてのお問い合わせ>

〒010-0021 秋田市榎山登町3-18 中通高等看護学院

TEL: 018-832-6019 mail: gakuin@meiwakai.or.jp

※電話でのお問い合わせは、9:00~16:30にお願いします。

詳しくはホームページをご覧ください

<http://www.meiwakai.or.jp/kangaku/>



<<編集後記>>

1月から始まった阿部サダヲ主演の「不適切にもほどがある!」は昭和から現代へタイムスリップしてしまうドラマです。昭和のおじさんのギリギリ“不適切”発言は、コンプラで縛られた令和の人々に考えるキッカケを与えていきます。昭和生まれ・昭和入社の方は昭和の良さも現代の良さも見てきましたが、時代とともに変わっていいこと、変えずに守るべきことを見つめ直すドラマになっていると思います。明和会の「いつでも どこでも だれでも」の基本理念のもと、患者さんやご家族の想いを大切にしながら、24時間365日、絶え間なく、看護を提供し続け、患者さんとの関係性の中で「明日に希望をつなげる看護」はこれからも変わることなくベテランの看護師から若い看護師、看護学生へと引き継がれていくことと思います。